

## 令和4年度 教育実践研究論文 募集要項

この事業は、教育関係者が使命感をもって、日々行っている教育実践の優れた結果の報告の場として下記要項のとおり実施します。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会千葉支部
2. 後援 千葉県教育委員会
3. 助成要件

### (1) 助成の趣旨

学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践研究論文を対象とします。

### (2) 募集対象と注意点

①学校部門、個人部門(研究グループを含む)の2部門とします。

②国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体に勤務する教職員とします。

[教育関係者とは各都道府県市区(特別区を含む)町村等に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者]

※部門相違の応募にご注意ください。

◎学校部門は校長が応募者となった当該校の実践研究に限ります。

校長が個人で研究しているものは校長名でも個人部門で応募ください。

③他の団体等より既に助成金(賞金)を受領したもの、または原稿料等の報酬を得て執筆、発表したものは対象外になります。

※ 内容が類似したものであれば、論文の様式でないもの(申請書・レポート等)であっても応募済みとみなします。

※ 過去に類似した内容で発表または他団体に応募済みのものは、下記の条件を満たすもののみ対象とします。

i 新たな内容に主軸を置いているもの(内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とします)

ii 過去に応募した書類を提出できるもの

※ 当支部へ応募後、推薦を受けて他団体に応募した場合も対象外となります。すみやかに支部あてにご連絡ください。

④ 同部門で2年連続の応募はできません。

※前年と同じ研究内容を、部門を変えて応募することはできません。

⑤「個人・グループ部門」に応募する際は、納税のため、代表者の個人番号(マイナ

ンバーのコピー)を提出していただきます。提出いただいた個人情報は、納税等必要な手続きの終了後、当支部の責任において廃棄します。

⑥お聞きした個人情報は、本事業に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

### (3) スケジュール

①令和4年8月9日(火) 応募締切(千葉教弘必着)

※提出後の修正は不可となります。完成版をご送付ください。

②令和4年9月中旬まで 一次審査実施

③ 10月上旬まで 二次審査実施→審査委員会を経て結果通知

④ 10月中旬 表彰式

⑤ 10月末日まで 受賞論文の中から2点程度を「日教弘教育賞論文」へ推薦します。

※「教育賞」については別にご案内いたします。

### ⑥論文集の発刊

#### (4) 応募方法

「応募申請書」を千葉教弘ホームページよりダウンロードのうえ、要旨、論文と一緒に郵送で提出してください。ホームページ URL <https://chibakyoko.jp>

##### ① 研究主題

「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

② 様式 ※異なる様式は審査の対象外となります。ご注意ください。

論文の作成は原則としてワードを使用してください。指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定のうえ、提出してください。(ア・イともに必須)

電子データ(CD-ROM等)も併せて提出してください。

※ア・イはそれぞれ別のファイルで作成してください。

◎要旨・本文の様式はホームページ内でダウンロードできます。ダウンロードしたファイルは応募様式の設定になっていますのでご利用ください。

#### ア 要旨

様式は48字×43行×1段組×A4判1ページ横書き(フォントサイズ10.5)とします。

所属校・職名・執筆者(学校部門は所属長・グループ部門は代表者)の氏名・研究主題・副題・要旨をまとめてください。

## イ 本文

□様式は 24 字×43 行×2 段組×A4 判 5 ページ横書き（フォントサイズ 10.5）とします。

□本文の 1 ページ目の 1～6 行目（段組み左右・2 段分）を用い、研究主題・副題・所属校・職名・執筆者（学校部門は所属長・グループ部門は代表者）を記載し、図表・写真等の資料を掲載する場合は、A4 判 1 ページ程度の分量で 5 ページの中に収めてください。

□学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者（執筆責任者・執筆担当者 等）がいる場合は、論文の文末に記載することができます。

（例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○）

※ホームページよりダウンロードした用紙を使用する際に、フォントの大きさを上記以外にすると、設定が正しくても、字数・行数が様式と異なって表示されることがあります。印字した際の字数・行数の様式が正しい場合に限り、フォントの大きさが上記と異なっても不問といたします。

※上記と異なる様式・不備がある状態で応募した場合、選考の対象外となることがあります。ホームページで様式を確認してください。

※要旨及び論文に記載する氏名・所属学校・役職・研究主題等は、不一致がないようにしてください。

※論文集に掲載する際はフォントを統一させていただく可能性があります。

### ③ 図表・写真等の資料の留意事項

あくまで補足資料であるため、掲載する図表・写真等の資料は、A4 判 1 ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けるかまたはデジカメ等で取り込んだものにし、「論文集」作成時に見にくくならないように配慮してください。

### (5) 表彰及び助成金額

	最優秀賞 (各 1 点)	優秀賞 (各 2 点)	優良賞 (各 3 点)	奨励賞 (各 4 点)	佳作
学校部門	30 万円	20 万円	10 万円	5 万円	3 万円 図書カード
個人・グループ 部門	20 万円	10 万円	5 万円	3 万円	1 万円 図書カード

※各賞の該当数は、選考結果により変わることがあります。

※最優秀賞・優秀賞・優良賞・奨励賞については、表彰式を行い贈呈します。

なお、佳作については、決定後に図書カードを送付させていただきます。

※論文集を刊行し、教育の振興に役立てます。

※最優秀賞・優秀賞・優良賞・奨励賞の該当論文については全文を掲載するので、誤字・脱字等がないよう注意してください。また、掲載時にフォントを統一させていただく可能性がありますのでご承知おきください。

※佳作該当論文については「論文の研究主題・応募者の氏名・勤務校」のみを掲載します。

※応募された原稿の著作権は当会に所属します。

※他の論文等にある図表、写真や長い文章を引用する際には、著作権所持者・団体の引用許可を応募者が取ってください。

※児童・生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。

## (6) 選考

1次審査、2次審査を経て論文審査委員会で各賞を決定します。

受賞の理由等、審査に関わる問い合わせには回答しません。